

小山町定例記者会見

9月

令和7年9月30日(火)
企画総務部 地域振興課



人の動き(令和7年9月1日現在)

人口	16,716人	(前月比)	△10人)
世帯数	7,427世帯	(前月比)	17世帯)

★ 会見事項

- 1 赤ちゃん用 紙おむつの寄付について
- 2 小山町湯船原地区太陽光発電事業環境学習について
- 3 第69回小山町町民文化祭の開催について
- 4 令和7年度 町民体育大会～スポーツを楽しむ日～
- 5 ふれあいスポーツ交流会について
まちなか回遊イベント
- 6 「おやまレトロ散歩スペシャル DAY！」の開催について
- 7 職員DX研修の開催について(小山町行政改革推進本部幹事会)
- 8 令和7年度 富士山須走口夏山登山等の実績について

◇次回の定例記者会見は

10月29日(水) 15:30から 会場は本庁舎 302会議室です。



アイリスオーヤマ(株)製 赤ちゃん用 紙おむつの寄付について

(小山町こども未来課)

1 概要

本年6月から、アイリスオーヤマ株式会社 富士裾野工場にて赤ちゃん用の紙おむつ「あんしん Genki!パンツ」の製造が開始され、今月初旬に子育て支援の一環として小山町に紙おむつの寄付が行われました。

今後も定期的に寄付をいただき、こども園に加え、乳幼児健診時や子育て支援センター「きんたろうひろば」、各ペンギンランドでの配布を計画しております。

2 内容

- ・寄付の品目：赤ちゃん用紙おむつ「あんしん Genki!パンツ」試供品（3枚入り）
- ・配布対象：町内こども園に通う0・1・2歳児クラスの園児
- ・配布方法：各こども園を通じて対象家庭に配布

3 寄付・配布数（今回寄附 9月1日）

施設名等	0歳児	1歳児	2歳児	計
すがぬまこども園	7	14	20	41
きたごうこども園	7	19	20	46
すばしりこども園	6	12	17	35
菜の花こども園	5	10	14	29
みらいこども園	4	13	11	28
乳幼児健診時 他				30
合計				209

【問い合わせ先】

こども未来課こども未来班
電話 0550-76-6126



小山町定例記者会見
令和7年9月30日

資料2

小山町湯船原地区太陽光発電事業環境学習について

(小山町フロンティア推進課)

1 概要

町内5校の小学4年生を対象に、小山町湯船原地区太陽光発電事業の現地を見学することにより、再生可能エネルギーの重要性を学習します。

2 内容

太陽光発電設備の見学、見晴らし台からの展望、太陽光パネルの発電状況など、事業者である「大和リース株式会社」から運営状況の説明を受けながら学習します。

と き 10月 8日(水) 11:00 ~ グループ

10月 9日(木) 11:00 ~ グループ

と ころ 小山町湯船原地区太陽光発電事業「Dream Solar ふじおやま」
見学スペース

見晴らし台からの展望は、10:40頃からになります

対象児童 グループ 足柄(15人) 北郷(62人)

グループ 成美(26人) 明倫(25人) 須走(30人)

雨天時は車窓から現地を見学した後、総合文化会館菜の花ホールで
環境学習を行います

説 明 者 大和リース株式会社 社員

主 催 小山町湯船原地区太陽光発電事業地権者協議会

対 応 小山町フロンティア推進課 職員

【参考】

発電開始 平成29年9月1日

発電規模 年間約1,677万4,000kWh(約4,100世帯分)

パネル枚数 62,224枚

敷地面積 約270,000 m²

フロンティア推進班

電話 0550-76-6129



第69回小山町町民文化祭の開催について

町民文化祭実行委員会
事務局 生涯学習課

1 概要

第69回町民文化祭を開催します。文化連盟所属団体のほか、小中学生、小山高校生などが参加し、日頃の文化活動の成果を発表します。

2 内容

- (1) 開催日 10月18日(土)、19日(日)
- (2) 会場 総合文化会館 金太郎ホール、菜の花ホール他
- (3) 入場料 無料
- (4) 内容

【展示部門】菜の花ホール、ロビー、展示室、児童遊戯室等

文化展 10月18日 午前9時から午後4時まで

10月19日 午前9時から午後4時まで

【舞台部門】いずれも金太郎ホール

音楽祭(合唱) 10月18日 午前9時30分から

歌謡祭 10月18日 午後1時から

音楽祭(邦楽・器楽) 10月19日 午前9時15分から

舞踊祭・民踊祭・ダンスフェスタ

10月19日 午後1時から

- (5) セレモニー 10月19日(日) 正午～
町民文化祭表彰、文化連盟表彰(100歳以上)
- (6) 主催 小山町町民文化祭実行委員会(常盤久美子委員長)
- (7) その他 キッチンカーや屋台の出店
来場者全員参加可能なスタンプラリー実施(町内企業協賛)

【問い合わせ先】

生涯学習課 生涯学習班

電話 0550-76-5722



令和 7 年 9 月 30 日

令和 7 年度 町民体育大会～スポーツを楽しむ日～

(小山町 生涯学習課)

1 目的

町民のスポーツ活動に対する関心を深めるイベントを開催することで、スポーツ活動への参加による心身の健康保持増進を図り、町の活性化を推進する。

2 概要

- (1) 開催日 令和 7 年 10 月 19 日(日) 雨天一部中止
- (2) 会場 小山町多目的広場・小山町総合体育館

3 内容

(1) 町民モルック大会(小山町多目的広場)

- ・対象 町内在住、在学、在勤の方
- ・募集人数 先着 60 組(1 組 2 名～ 4 名)
- ・事前申込制(申込期間: 9/13～ 10/8)

雨天中止(中止の場合は当日朝 6 時 30 分の無線放送にて連絡)

(2) 軽スポーツ体験(総合体育館)

- ・ラダーゲッター
- ・バグゴ(BAGGO)
- ・ポッチャ
- ・スカイクロス
- ・輪投げ
- ・室内ペタンク
- ・少林寺拳法(小山町少林寺拳法協会)
- ・剣道(小山町剣道連盟)
- ・柔道(小山町柔道会)

同会場にてシセイカルテを無料で実施(事前・当日予約制)

【問い合わせ先】

町民体育大会実行委員会 事務局

NPO 法人小山町体育協会 電話 0550-76-7511

生涯学習課 電話 0550-76-5722



小山町定例記者会見
令和7年9月30日

資料5

ふれあいスポーツ交流会の開催について

(小山町社会福祉課)

1 概要

町では、「障がい者福祉プラン」に基づき、関係機関・団体との連携の下、身近な地域で障がいのある方もない方もスポーツを通じ、楽しめる機会、個人としての心身機能の向上や、障がいのある方に対する理解と認識を深める場となるよう、誰もが一緒に楽しめるスポーツ、モルック等の「ふれあいスポーツ交流会」を開催します。

2 内容

- (1) 日 時 令和7年10月22日(水) 10:00～11:30
- (2) 場 所 小山町総合体育館
- (3) 内 容 モルック交流会・ボッチャ体験会
- (4) 参加者 身体障害者福祉会、手をつなぐ育成会、民生委員・児童委員協議会、ワークホーム・アップル、御殿場特別支援学校小山分校
障がいのある方やそのご家族

障害のある方やそのご家族で交流会の参加を希望される方は、10月14日(火)までに小山町社会福祉課までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

社会福祉課 社会福祉班

電話 0550-76-6661



小山町定例記者会見
令和7年9月30日
まちなか回遊イベント

資料6

「おやまレトロ散歩スペシャル DAY!」開催について

(小山町商工観光課)

1 概要

小山町まちなか空間活性化協議会が、まちなか回遊イベント「おやまレトロ散歩スペシャル DAY!」を開催します。富士紡績の発展とともに栄えた懐かしい昭和の頃の商店街の賑わいを復活させる企画を実施するとともに、今年度は小山町役場前交差点～小山交番前交差点までを歩行者天国とします。

町と関係団体との連携により、空き家や空き店舗を活用したイベントを開催し町の魅力を発信することで、交流人口拡大やエリア経済の活性化を図ります。

開催日 令和7年10月25日(土) 10時～14時(健康福祉会館は15時まで)
交通規制は9時～15時まで

会場 小山町役場、落合・音淵商店街、健康福祉会館

2 開催内容

(1) レトロ散歩でスタンプラリー

・落合、音淵商店街の対象スポットでスタンプをもらって、3つ集めると健康福祉会館での抽選会に1回参加可能です。さらに、Wチャンスキャンペーンとして豪華な賞品が当たる大抽選会にも応募可能です。

(2) 店舗内(敷地内)出店・キッチンカー・地元住民等の出店

・商店街の既存店舗の駐車場や空き地ではハンドメイド作品やお菓子などの販売を行います。また、フードキッチンカーやレトロ商品を製作するワークショップなどが出店します。また、落合・音淵地区にお住いの方がハンドメイド作品やレトロな雑貨などを販売します。

(3) ステージイベントや歩行者天国でのパレード

・健康福祉会館、役場前において町内中学校の生徒による吹奏楽の演奏や、ダンス、マジックなど様々な演目を予定しております。また、歩行者天国を活かし、かつて実施していたこども神輿を復活し、地元のこども達が神輿を担ぎ練り歩いたり、レトロな衣装をしてきた来場者でパレードを行ったり、懐かしい昭和のサウンドのカラオケ選手権を行う予定です。

(4) その他

・商店街のウィンドーに懐かしい看板や映画ポスター、レトロなコスチュームなどを展示します。

【問い合わせ先】

商工観光課

電話 0550-76-6111



小山町定例記者会見
令和7年9月30日

資料7

職員 DX 研修の開催について（小山町行政改革推進本部幹事会）

（小山町企画政策課）

1 概要

小山町デジタル・トランスフォーメーション（DX）ガイドラインの推進のため、職員向けの研修会を通じて、職員の DX に関する意識を向上させ、業務の効率化等を図ります。

2 内容

小山町 DX ガイドラインでは、サービスの向上と効率化の手段である「D=デジタル」を活用した、常にユーザー中心の思考でサービスを改善するための「X=変革」の推進により、基本理念である「デジタルで人と地域が つながる まち 小山町」の実現を目指しています。この推進に必要な能力を体系的に習得することで、DX に積極的にチャレンジできる人材の育成、業務効率化のための組織体制の整備を目的とします。

3 日程・対象者

令和7年10月27日（月）13：30～15：30

対象者：行政改革推進本部幹事会（各課から選出された中堅職員）

4 研修テーマ

「DX 研修～職員向け DX マインドセット・基礎知識～」

5 講師

小山町 CDO（Chief Digital Officer） 小林 啓男 氏
（フューチャー株式会社 DX 推進室ディレクター）

【問い合わせ先】

企画政策課 DX 推進室

電話 0550-76-6133



令和7年度 富士山須走口夏山登山等の実績について

(商工観光課・健康増進課)

1 要 旨

本年度も「登りやすく」「緑の多い」須走口登山道の魅力を発信し、登山者の誘客を図りました。

須走口五合目の活動拠点となるインフォメーションセンターには、今年度から「救護所」を設置して、看護師による救護体制を整備しました。これにより登山者や観光客の安全・安心を確保することができました。

また、富士山入山料徴収の義務化や夜間の時間規制が設定されたことに伴い、町では登山者への周知や案内強化などに取り組み、適正利用と環境保全の推進を支援しました。

以下に、令和7年7月10日(木)から9月10日(水)までの開山期間における実績を報告します。

2 実 績

(1) 須走口登山者数(7月10日~9月10日) 63日間

【町設置5.5合目登山者カウンターによる】

R7年度 = 24,334人(前年度比8.8%減)

R6年度 = 26,693人

R元年度 = 30,880人 コロナ前

【環境省設置本7合目付近登山者カウンターによる】

R7年度 = 21,792人(前年度比4.5%減)

R6年度 = 22,830人

R元年度 = 20,215人 コロナ前

(2) 須走口救護所利用者数(7月10日~9月10日) 63日間

従事した看護師の人数：8人

利用者数：169人(日本人119人 外国人50人)

救急車での搬送人数：2人

対応について富士小山病院へ電話相談した件数：3件

多かった症状：登下山中の転倒等による腕や足の擦過傷、虫刺され、足の痛み(疲労・捻挫疑い等)、高山病疑い(頭痛・吐き気)

(3) マイカー規制乗換駐車場の利用台数(規制期間)

【場所：須走多用途広場】

R7年度 = 3,459台(63日間)(前年度比9.8%減)

R6年度 = 3,834台(63日間)

R元年度 = 5,198台(63日間) コロナ前

3 考 察

令和7年度の登山者数は、前年度に比べ約1割減少しました。主な要因として、ひとり4,000円の入山料徴収が義務化されたことや夜間の時間規制が設定されたことによる影響が大きいと考えられます。

須走口における登山者の構成を見ると、外国人登山者が大半を占め、特に欧米からの来訪者が目立ちました。

新設した五合目救護所では、安心して相談・処置を受けられる環境が整備され、169人の利用があり、外国人対応も含め円滑に行えました。

例年、問題となっているゴミの不法投棄は対応に課題を残しましたが、インフォメーションセンターや富士山ナビゲーターなど、五合目周辺で業務にあたる係員の連携により、須走口の安全・安心・快適な利用環境は着実に進展していると考えます。

富士山の世界文化遺産登録から12年を経た今、須走口における富士山の適正利用のあり方について、改めて検討と研究を重ねてまいります。

【問い合わせ先】

商工観光課

電話 0550-76-6114

健康増進課

電話 0550-76-6668